

目指せ！  
パラリンピック

## あいちトップアスリートアカデミー2021 パラアカデミー生の紹介

東京2020パラリンピックでは、愛知ゆかりの選手が15名出場し、銀メダル2個・銅メダル2個をはじめ、それぞれの選手が活躍をみせた大変盛り上がった大会でした。

愛知県では、国際大会で活躍する地元パラアスリートを発掘・育成する事業として、あいちトップアスリートアカデミー（パラアスリート部門）を開講しています。

今回は、選考会で合格した未来のパラリンピアン6人を紹介いたします！

パラアカデミー生へ  
インタビュー

1 尾原 夢都（おはら ゆめと）10歳 《陸上競技 車椅子》



### 選考会に応募したきっかけは？

担任の先生から選考会のお知らせをもらい、家族から「何でも経験してみよう」と言われて応募しようと決めました。

### アカデミー生になって変わったことは？

指導してもらうにつれ意識も変わり、自主的に練習するようになりました。打ち込めるのができ嬉しく思います。（保護者より）

### みなさんへメッセージ

レーサーに乗って師匠たちと風を切って走るの、とても気持ちよく楽しいです。

憧れのマルセルフグ選手のように「銀色の弾丸」みたいな愛称がもらえるよう頑張るので、応援よろしくお願いします。



## 2 久野 竜太郎 (くの りゅうたろう) 22歳 《陸上競技 短距離》



### 育成プログラムでためになっていることは？

速く走るために必要な筋肉のトレーニング方法やドリルを中心に、新しい知識が増えていくことです。

### 普段は何をしていますか？

あん摩マッサージ指圧師国家試験に合格するため、学校に通い勉強中です！

### みなさんへのメッセージ

僕が活動できているのは、応援してくれる方たちのおかげで、本当に感謝しています。必ず成長します！



## 3 倉地 諒 (くらち りょう) 18歳 《陸上競技 跳躍》



### 選考会に応募したきっかけは？

現在は学校の部活動で陸上をしており、社会人になっても陸上を続けたいと思っている時に選考会がある事を知り、良いチャンスだと思い応募しました。

### 夢のために努力していることは？

「パラリンピック出場！」という夢に向けて、色々な経験をするようにして、自分に何が足りないのか？を自分の肌で感じるようにしています。

そして、それを改善できるように練習を頑張っています。



4 佐久間 玄 (さくま げん) 18歳 《陸上競技 短距離》



**育成プログラムでためになっていることは？**

自分より速い人と走る機会が増えたので、速い人のスピード感や走り方が間近で見られる事です。

**アカデミー生になって変わったことは？**

自分に少しだけ自信が持てるようになりました！

**みなさんへのメッセージ**

障害のある人でも楽しくスポーツをしていますので、いろいろな人とスポーツを楽しんでください。



5 立岩 杏菜 (たていわ あんな) 18歳 《陸上競技 跳躍》



**目標は何ですか？**

具体的な目標は、走り幅跳びで4m以上跳べるようになることです！

**普段は何をしていますか？**

毎日好きな YouTuber の動画を見るのが好きです。

**アカデミー生になって変わったことは？**

スポーツに対する意欲が強くなりました。(保護者より)



## 6 藤原 みなみ（ふじわら みなみ）24歳《卓球》



### 選考会に応募したきっかけは？

FID卓球で活躍している川崎歩実さんとパラリンピックに出場したいからです。

歩実さんのフォアで『バシッ』と決めるところと動きが滑らかなところに憧れ、私もそうなれるように頑張りたいからです。

### アカデミー生になって変わったことは？

前よりも『もっと強くなりたい！』と思うようになりました。

家族からは「いろんな大会に出るようになって、考えてサーブを出せるようになって成長した」と言われました。



**みなさん、応援よろしくお祈いします！**



### お知らせ

あいちトップアスリートアカデミー2022 パラアカデミー生を募集します。  
愛知県 Web ページより、「あいちトップアスリートアカデミー2022」パラアスリートの募集要項をご確認のうえ、専用フォームよりご応募ください。

**たくさんのご応募お待ちしております！**

制作：愛知県スポーツ局競技・施設課

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/sports-column.html>